

龍西だより



令和5年度 学校だより
第5号
令和5年5月9日
熊本市立龍田西小学校
校長 堀下 欣也

異学年交流について



上の写真は、朝の中庭の様子です。1年生と高学年の子どもたちが一緒に遊んでいます。1年生はもちろん、高学年の子どもたちも笑顔いっぱい楽しそうです。このように、年齢の異なる子どもたちが一緒に遊ぶ風景は、今はあまり見かけられなくなりました。

今の子どもたちの様子を表すときによく使われる『3つの「間」がない』という言葉をご存じでしょうか？「時間がない」「空間がない」「仲間がない」の3つです。「時間がない」は放課後も子どもたちは習い事などで忙しく、自由に過ごす時間がないということ、「空間がない」は遊ぶ場所がないということ、「仲間がない」は一緒に過ごす友達が少ないということです。

子ども会活動は地域での異学年交流の貴重な場と思いますが、コロナの影響や子ども会に入会しない家庭もあり、活発に活動されているところは少ないのではないのでしょうか。私の子どもが小学生のころ、夏休みの朝にラジオ体操が行われていて、当番日に公園へ行ったことがありました。上級生が上手にみんなをまとめ、終わったらカードにシールを貼るなど頼もしい姿を見せてくれていました。

異学年交流の理想は、下級生は上級生を信頼し、あこがれを持つことです。自分も上級生になったらあんなふうになりたいと思うようになることです。逆に上級生は上級生としての自覚を持ち、下級生のお手本になるような行動ができるようになることです。

地域でのこのような異学年交流の場が少なくなった今、社会性を養うために、学校がその役割を担わなくてはいけないのかもしれませんが、もちろん学校では、「クラブ活動（4～6年）」「委員会活動（5・6年）」は行われていますし、多くが地域活動に移行された「部活動」も貴重な異学年交流の場です。かがやき学級は、異学年で学習している時間が多いので、毎日異学年交流ができていますといえます。

今、低学年も含めた異学年交流が学校全体でできないか、知恵を絞っているところです。

先生方には、毎日の授業だけではなく、学校行事でも子どもたちに自信と笑顔を増やしてほしいとお願いしています。今月は、先週実施した1年生を迎える会と歓迎遠足や、27日（土）予定の運動会があります。全学年が一緒になって行う貴重な行事です。少しでも異学年交流の場になればと思っています。

1年生を迎える会と歓迎遠足

先週2日（火）の様子を下の写真でお知らせします。好天に恵まれ、楽しい時間を過ごしました。



【計画委員会のクイズ】



【1年生と6年生↑→】



【元気な2年生】